



第4回

3.11 東日本大震災を忘れない 大田区&東松島市 絆音楽祭

主催：大田区&東松島市「絆」音楽祭実行委員会

後援：大田区、大田区被災地支援ボランティア調整センター、東松島市、学校法人片柳学園 東京工科大学・日本工学院専門学校



活動報告とお礼

2015年5月23日土曜日、日本工学院専門学校（大田区西蒲田）で、第4回となる『3.11 東日本大震災を忘れない 大田区&東松島市「絆」音楽祭』を開催しました。この音楽祭は大田区と東松島市の被災地支援交流で芽生えた縁（えにし）、友情、そしてお互いの感謝の想いが積み重なり、大田区民と東松島市民の有志の企画により2012年に第1回を開催して以降、毎年続けてきました。

両街からの出演者によるステージ発表のほかに、東松島市のみなさんを招待する鑑賞ツアーを企画し、さらに今回はツアー参加者の中から4名の方に語り部となっていただくトークコーナーを設けたり、東松島高校生徒会のみなさんへインタビューをする等、「話を聴く」時間を昨年より多く取り入れました。震災の体験、復興への歩みや想いが語られ、会場全体で「忘れない」という想いを共有しました。

会場の入り口には、復興支援商品の販売や支援活動・復興の歩みのパネル展示、「松ぼっくりの里帰り大作戦」より松の種の配布、大田区防災課より防災グッズの紹介、マッサージ「カッサ」による癒し体験の各コーナーが置かれました。復興支援商品を提供した「はまなすの会」による手作り体験も好評で賑わっていました。来場者は熱心に見て回ったり、スタッフと話しながら楽しむ様子が見られました。

ステージのフィナーレでは「花は咲く」を手話を交えて全員で歌い、会場が一体となり音楽で交流を深めました。

来場者アンケートにおいて、被災地支援ボランティア活動に参加してみたい、もしくは、興味があるという回答が半数以上ありました。また、「自分に何ができるか考える」「ささやかだが自分はこんなことで支援をしている」というコメントが寄せられ、忘れかけていた震災について考えるきっかけになりました。これもご協力・ご支援いただいた皆様のおかげです。心より感謝を申し上げます。



イベント風景

松原忠義大田区長、古山守夫東松島副市長、千葉茂学校法人片柳学園副理事長 日本工学院学校長によるご挨拶から始まり、全部で9グループが出演しました。ステージでは、合唱、フラダンス、マリンバとピアノ、民謡、チアリーディング、ダンス、箏・三味線、バンドと多岐にわたるパフォーマンスを披露し、音楽祭を通じた交流が行われました。



▲松原忠義大田区長(左)、古山守夫東松島副市長(中央)、千葉茂学校法人片柳学園副理事長 日本工学院学校長(右)によるご挨拶。



▲司会の重田さん(左)と怜良さん(右)。絶妙なトークで会場を盛り上げました。／大田ボランティア合唱隊。東松島市唄「このまち大好き」を熱唱。／日本工学院専門学校コーラス隊が印象的なアレンジ曲を披露。



▲フラサークル コニコニによる優雅なフラダンス。／なおき マリンバ&ピアノ。優しい響きに心を打たれました。／阿部康さん(友情出演:邦舟会)による宮城県の民謡。懐かしさから故郷を思い出す人もいました。



▲日体荏原高校チアリーディング部 "BIG STONES" とダンス部。若者からパワーをもらったという声が寄せられました。／東調布中学校箏・三味線部。心を一つにして奏でられる素敵な音色に聞き入りました。



◀トロピカルムーン(左)。復興ソング「虹を架けよう」を会場全員で歌いました。JMC(城南信用金庫音楽部)(右)。日体荏原高校とコラボレーションパフォーマンスで盛り上がりました。



◀トークコーナー(左、右上)。東松島市からの参加者が語り部となり、震災体験について語りました。直接現地の方の話を聞く貴重な時間となり「生の声を聞くことができよかった」「忘れていた震災のことを思い出しました」と来場者の関心を引きました。

◀東松島高校生徒会のみなさんへインタビュー(右下)。生徒たちの活動に耳を傾け、元気な姿に励まされました。



▲復興支援商品"おのくん人形"は完売。"はまなすの会"による貝殻ストラップの手作り体験は大人気で、子どもから大人まで楽しんでいました。松林の再生を目指し、松の種や苗を賛同者へ配布しました。



▲カッサによる疲れを癒すマッサージ、大田区防災課による防災グッズの展示。片柳学園、大田区、縁プロジェクトによるパネル展示があり、復興支援活動の取り組みや震災以降の歩みについて伝えました。

▲沢山の方にご来場いただきました。ありがとうございました。

ありがとうございました！

東日本大震災発災から 1500 日が過ぎましたが、いまだ 22 万人(※)という多くの方々が避難生活を余儀なくされています。

これまでひたむきに復興へ向けて頑張ってきた東北の人たちを私たちはこれからも応援していきます。「私たちは忘れていません」というメッセージを音楽を通して東北の人たちに送ります。

それとともに、復興がまだまだ途中である事実を、この音楽祭で伝えていきたいと思えます。人間はとかく忘れやすいものです。この音楽祭をやることによって東日本大震災を「憶え直す」きっかけになれば、幸いです。

この絆音楽祭をこれからも続けていくことで、少しでも復興の手伝いとなるよう、実行委員一同、頑張ります。

多くの方々のお力で開催できましたことに心からの感謝を申し上げるとともに、これからも皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大田区&東松島市『絆』音楽祭実行委員会委員長 仙 裕司



※復興庁より 2015 年 4 月 16 日現在の全国の避難者等の数

ご協賛・ご協力いただいた皆様

敬称略・順不同。ご芳名に誤字・脱字がございましたらご容赦願います。なお、ご希望により掲載していない方もございます。

▼広告協賛をいただいた皆様

- 城南信用金庫 ●居酒屋ふくべ ●小西医院 ●ともの眼鏡院 ●有限会社ピアノハウス川井 ●うめやしき整体院
- エアクリッパーデザインハウス

▼協賛金・ご協力をいただいた皆様

- 大田区立東調布中学校同窓会 ●大勝不動産 ●大勝工務店 ●伝助渡邊工務店 ●東京土建大田支部
- 東京羽田ロータリー・クラブ ●有限会社安久工機 ●うまいもんや昭和 ●ナムコ(株) ●武蔵新田「ワインライト」

▼チャリティーライブコンサートに出演いただいた皆様

- フナクボ 香織 ●Le petit jardin ●大田ボランティアーズ ●LOON ●ノットフリー ●怜良
- せんちゃん・まるちゃん ●exG、O、R エックスゴー ●WHOTA ●Happy smile express ●humann note
- 大田ボランティア合唱隊

▼ポスター・チラシ設置や告知活動にご協力いただいた方々

(ポスター・チラシ設置等)

- 蒲田行進曲フェスタ ●居酒屋ふくべ ●大勝不動産 ●大勝工務店 ●こらぼ大森 ●城南信用金庫 ●スター楽器(株)
- 子ども交流センター ●善照寺 ●東京土建大田支部 ●大田浴場連合会 ●大森建設組合 ●池上本門寺春祭り
- 馬込大桜祭り ●JCN 大田ダイシンスタジオ ●小西医院 ●ともの眼鏡院 ●子どもガーデンパーティ平和島会場
- 子どもガーデンパーティー多摩川台公園会場 ●東急蒲田駅 ●日本工学院 ●もっこり竹の子観光(株) ●大正湯
- 大田まちづくり芸術支援協会 ●雪谷文化センター男の料理クラブ ●雪谷文化センター金曜会(明朗麻雀)
- うまいもんや昭和 ●うめやしき整体院 ●大恵動物病院 ●NPO 法人沙らの木 ●オオタキ文具 ●クララ整骨院
- RuRu ●大島園たばこ店 ●シエルズガーデン ●東京サーハウス ●アジアン・ディー ●うなぎ崑三 ●駒鯨
- Chez l'ami noix ●整骨院ひまわり ●イギアウィメンズクリニック ●小寺製作所 ●小料理みゆき ●森山印刷
- ティールグリーン・シード・ヴィレッジ ●日体荏原高校 ●大田区役所・特別出張所・図書館・文化センター・区立小中学校・区内都立高校 ●大田区立東調布中学校 ●大田区立糀谷中学校 ●大田区立南六郷中学校 ●大田区中学校 PTA 連合協議会
- 御嶽商店街振興組合 ●東蒲田1丁目町会 ●蒲田3丁目町会 ●東蒲田2丁目町会 ●都営矢口二丁目アパート

(web等掲載)

- 大田区区民活動情報サイト オーちゃんネット ●大田区ホームページ ●おおた区報5月11日号 ●東京新聞
- 毎日新聞 ●大田区被災地支援ボランティア調整センター ●イベントバンク ●BIGLOBE 旅行 ●日本旅行
- Yahoo! ロコ(地域情報) ヤフー株式会社 ●朝日新聞デジタル 株式会社朝日新聞社 ●ゆこゆこネット
- Walkerplus 株式会社 角川マガジンス ●るるぶ.com 株式会社 JTB パブリッシング (JTB Publishing, Inc.)
- まちこみ ZAQ ●ニコソ すぽっとサーチ 株式会社ニコソイメージングジャパン ●アパホテル

ご協賛・ご協力いただいた皆様に対し、心より感謝を申し上げます。
ありがとうございました。



「大田区&東松島市「絆」音楽祭 活動報告とお礼」

○編集 縁プロジェクト

公式ホームページ <http://otaenishiproject.jimdo.com>

○発行日 2015年6月20日

○発行者 大田区&東松島市「絆」音楽祭実行委員会